

## 学校教育の充実

平成21年度の国の大型補正予算を活用し、本年度に繰り越して取り組んでおります。小学校の耐震改修などの各種大型工事につきましましては、周辺住民の方々のご理解とご協力をいただきながら、工期の中心でありました夏休み期間を経過し、概ね順調に進ちよくいたしております。

その結果、校舎の耐震改修につきましましては概ね今月末、また大規模改修と太陽光発電設備につきましましては、10月上旬から中旬にかけての完成を見込んでおります。

なお、耐震工事等の必要がなかった誠道小学校の太陽光発電設備の設置につきましましては、7月末に完成し既に稼動いたしております。



太陽光発電設備が設置された誠道小学校

また、PTAをはじめ地域の方々との協働事業と位置づけ取り組んでまいりました「校庭の芝生化事業」であります。4月の苗づくりから6月の植え付け、その後の芝刈りなど多くの方々にご協力をいただき、この夏の猛暑の中、比較的順調に生育いたしております。

今週末の土曜日には中学校、日曜日には小学校の運動会が開催されますので、小学校各校と第一中学校では、砂ぼこりもなく、青々とした芝生の上で、元気よく走り回る児童・生徒の姿をご覧いただけるものと思っております。

## 社会教育

生涯読書の推進につきまして、国民読書年である本年、8月7日に、第6回読書活動推進大会を開催し、地元山陰の童話作家お二人により、「神話」や「命の大切さ」をテーマとしたお話をしていただき、ご参加いただいた皆さんに、「山陰の良さや温かさ」「命の大切さ」が伝わったものと思えます。引き続き、子どもへの読み聞かせや家読、ファミリー読書を中心に、胎児からお年寄りまで、生涯を通じて読書活動の拡大を目指して、生涯読書の推進を図ってまいります。



読書活動推進大会

文化財保護につきましては、第四次境港市文化財の調査を進めており、9月末には最終の境港市文化財保護審議会を開催し、概ね7点を新たに選定し、教育委員会に諮った上で、指定する予定としております。

また、郷土の偉人についても調査を進めており、「境港市の誇る先人たち」第2集は、候補者の中から選定作業を進めており、年明けにはパンフレットを発行する予定にしております。

## 子育て支援

本市では、子どもの健やかな成長発達や親子の絆づくりに向けて、さまざまな事業を展開しているところでありますが、「赤ちゃん登校日」開催4年目

にあたり、本事業の取り組みを広く啓発するとともに、地域ぐるみで子育てについて考える機会とする「赤ちゃんサミットin境港」を、10月9日・10日に開催いたします。基調講演やパネルディスカッション、赤ちゃん

の写真展、赤ちゃん登校日模擬授業などを実施する予定としております。

本年3月末で廃園となりました「ひまわり幼稚園」につきましましては、市民の方々からご意見をいただきながら検討を行なった結果、児童図書館や子育てサークルの活動拠点等の機能を併せもった「地域子育て支援拠点施設」として、来年4月に開設を予定し、本議会において、改修工事および備品購入に関する補正予算を提案させていただいております。

## 保健福祉施策

過度のストレスなどが原因となり、引き起こされる精神疾患は、本市でも増加しております。このため本年度は、「うつ病」の対策に力を入れ、これまでに、市内の企業や事業所など、40カ所以上で保健師による出前講座を開催してまいりました。受講された方からは、「病気に對する理解が深まり勉強になった」と好評をいただいております。

さらに、8月8日には、本市文化ホールにおきまして、「境港市こころの学習会」をテーマとした「メッセージュ」と題しての講演会とシンポジウムを開催したところ、大変多くの方にご来場いただき、世相を反映した深

刻なテーマへの反響の大きさと、市民の関心の深さを再認識したところとす。今後も、身体の健康とも密接に関連する「こころの健康づくり」を推進し、市民の方が心身ともに健康で暮らせるよう、努めてまいりたいと考えております。



境港市こころの学習会

本年3月末で廃園となりました「台場保育所」につきましましては、跡施設の有効活用として、「社会福祉法人まつぼっくり事業所」に利用していただくことを考えております。

「まつぼっくり」は、本市が平成10年に開設しました「境港市心身障害者ふれあいセンター」を中心に事業を展開されてきましたが、利用者の増加や、事業内容の拡大により、既存の施設では手狭となっております。今後は、障がいのある方たちに幅広くご利用いただけるよう、新たな就労支援施設として活用したいと考え、現在、協議を進めているところであります。

## 可決された主な議案

### ■平成22年度一般会計補正予算 《歳出の主な内容》

#### 【議会費】

鳥取県市議会議長会への負担金7万円余を増額。

#### 【総務費】

夕日ヶ丘地区の定期借地契約の締結に伴い境港市土地開発公社等から用地を取得するための経費3,335万円余、『ゲゲゲの女房』の放映効果などにより、ふるさと納税としての寄附者が増加したことに伴い、寄附された人へのプレゼント費用50万円などをそれぞれ増額。

#### 【民生費】

ひまわり幼稚園の跡地を地域子育て支援センターとしてリニューアルするために必要な改修経費等5,287万円余、生活保護業務の診療報酬請求オンライン化などに対応するためのシステム改修費と機器の整備費366万円余などをそれぞれ増額。

#### 【衛生費】

新型インフルエンザワクチン接種助成事業として、国が定める接種費用の助成対象者である「市民税非課税世帯や生活保護世帯」の人への接種費用全額助成に必要な経費1,685万円を増額する一方、本年から新た

に季節性と新型の一本化されたワクチンが開発されたことにより、季節性の「インフルエンザ予防接種費」として、既に予算措置がしてあるもののうち、「新型」と助成対象が重複する人の経費645万円余を減額。

#### 【労働費】

緊急雇用創出事業を活用し、こども支援センターの園庭の芝の管理など環境整備を行なう用務員を新たに雇用するための経費108万円余を増額。

#### 【農林水産業費】

県の「緑の産業再生プロジェクト事業」の補助金を活用して、市内の木材加工業者が国産材の利用促進を図るための設備導入に対する助成金1億円を増額。

#### 【土木費】

下水道事業費特別会計への繰出金2,485万円余を減額。

#### 【教育費】

第二中学校の改築に向け、同校のグラウンド移設に伴う用地取得費とグラウンド整備に係る実施設計費3,365万円余、DBSクルーズフェリーの就航1周年を記念し、10月に開催される「きたろうカップ境港駅伝競走大会」に、寄港地である韓国・東海市とロシア・ウラジオストク市の駅伝チームを招致するために必要な経費308万円余などをそれぞれ増額。

### 《歳入の主な内容》

歳出に伴う国・県支出金などを計上するほか、財源として繰越金を増額。

以上により、歳入歳出それぞれ2億1,526万2千円を増額し、予算総額を133億2,170万8千円としました。

#### ■平成22年度国民健康保険費特別会計補正予算

特定健康診査等の未受診者に対する調査や受診勧奨に係る経費のほか、老人保健医療費拠出金の拠出額の確定に伴い、歳入歳出それぞれ223万2千円を増額し、予算総額を38億374万8千円としました。

#### ■平成22年度下水道事業費特別会計補正予算

米子市大篠津町の旭が丘団地の汚水受入れに対応するために、米子市から受託して実施する本市下水道センター敷地内の汚水管整備費796万6千円を増額し、予算総額を20億6,964万1千円としました。

また、下水道事業費の財源として市債の借入限度額の増額補正をあわせて行なっています。

#### ■平成22年度介護保険費特別会計補正予算

平成21年度に概算払いを受けた、社会保険診療報酬支払基金からの交付金の精算に伴う返還金396万5千円を増額し、予

算総額を28億2,750万3千円としました。

#### ■「境港市企業立地の促進及び雇用の拡大に関する条例」の一部改正

本市に企業立地しようとする企業への支援措置として、1億円を上限に、企業立地のために新たに取得した固定資産総額の5パーセントを補助する「企業立地支援補助金」を新たに創設し、既存の支援措置である5年間の固定資産税の課税免除とのいづれかを、企業が選択できるようにすることにより、企業の円滑な進出と企業の状況に応じた柔軟な支援を可能とし、企業立地の促進を図ります。

#### ■新たに生じた土地の確認、町の区域の変更

かつて渡船場であった相生町地先の公有水面の埋立に伴い生じた土地を、新たな土地として確認するとともに、相生町の区域に編入しました。

#### ■教育委員会委員に遠藤恵裕さんを再任。

#### ■公平委員会委員に池淵美津子さんを再任。

#### ■職員懲戒審査委員会委員に佐々木宏之さんを再任。石倉俊一さんを選任。

#### ■特別功労表彰者に石黒豊さん、手島幸二さんを決定。

## 議員提出議案

■原子力施設に係る防災指針の見直しを求める意見書の提出について

## 陳情の審議結果

#### ■趣旨採択

◇日本軍「慰安婦」問題の解決をめざす法制定を求める意見書の提出を求める陳情

